

## (事業者向け) 放課後等デイサービス自己評価表

公表：平成31年3月1日

事業所名 COMPASS発達支援センター 吉富

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員に対し、規定の約2.3倍のスペースで基準を満たしています。今後も学齢期の人数割合で活動スペースを分けるなど、状況に応じて適宜うまく活用していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			利用人数に合わせて十分な人員配置を行っています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		現在、該当する利用児童はいませんが、身体状況により、必要に応じて段差の解消や手すりの設置などの改修を行うようにしていきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			業務に関する幅広い項目について都度検証を行う機会を設け、サイクルを効果的に回しながら、全員で意見を出し合い改善を図っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			連絡ノートを通して保護者様からのご意見や、要望の把握を行っています。評価表に寄せられた内容に関しても改善に向けた取り組みを行っています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価結果はホームページで公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	受審は未だですが、外部評価に基づいた利用者本位の福祉の実現を目指す観点から、現在行っているサービスの特徴や課題を明らかにしてゆく努力を行っていかねばならないと考え、検討しています。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修報告会の実施や、テーマを決めて定期的に研修や学習会を行っています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			最低6か月ごとに中間評価を行い、個別支援会議では原案を基に全職員の意見を聴取して本案の作成にあたっています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		それぞれの発達に応じたアプローチが行えるように、事業所で更に細かくチェックができるようシートを作成し、スキルや能力を把握できるようにしています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			目的を明確にしたプログラムを立案・計画し、実践後には振り返りを行っています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			単調な内容にならないように毎回、活動プログラムの内容を変えています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用児童が興味を持ったり、主体的に取り組めるように配慮しながら支援を行っています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			状況に応じて活動内容の変化はありますが、「個別活動から小集団活動へ」の流れを毎日の基本的なルーティンとして展開しています。
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、利用児童の来所前に全職員で打ち合わせを行い、細かなことも事前に周知を図った上で支援業務に臨むようにしています。	

適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援の終了後に、その日の利用児童の様子で気付いたこと、個々が関りて感じたことなどを出し合っています。その他は申し送りノートを活用して情報の共有を図っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援内容のほか、当日の利用児童の体調や情緒などの特記事項も記録をとっており、支援の評価などに活用しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		利用児童や保護者様との面談を行い、また中間評価も参考にして、目標の見直しや変更など必要性を慎重に考えて判断しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせず支援を行っているか	○		支援計画の内容や児童の状況を勘案しながら、総則の基本活動を組み合わせて取り入れています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が会議に参画しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		各学校より毎月の予定表を提供してもらうほか、担任や特定のキーパーソンの先生と連携し、予定変更や問題発生時の対応など双方が連絡を取り合い、迅速な対応がとれるようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在、該当する児童の利用はありませんが、あらかじめ既往歴や担当医を把握し、相談や指示を受けたりできる体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		卒園後も幼稚園や保育園に支援者として関わっていただき、情報を共有しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		現在該当する利用児童はいませんが、GHや生活訓練、福祉的就労に移行する場合は、支援者としてできる限りの情報提供を行い、事業所へ協力していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		それぞれの機関で、関わりのある利用児童もおり、連携をとっています。今後も助言等の協力を受け、また研修の機会にも積極的に参加していきたいと考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	事業所利用を秘密にしておきたいという保護者様もいらっしゃいますが、地域の児童と積極的に関わりを持つ機会を設けられるように検討しています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		豊築地区自立支援協議会の子ども部会に毎回、児童発達支援責任者が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡ノートの活用のほか、学校や家庭での情報が共有できるように、また些細なことでも伝え合えるように連携をとっています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	直接の専門的な支援は行っていませんが、各種講演会やセミナー、発達相談会の情報などは保護者の方に発信しています。また、ご家族からの相談に対しての助言を行っていく体制は日頃より整えています。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		内容について読み合わせをしながら、一つ一つ丁寧に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者様の要望に応じて面談を行っており、保護者様の「お困りごと」に傾聴して、保護者様の立場になって助言を行う対応を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		日頃の支援の様子を見ていただいたり、また保護者同士の語らいの場を設ける目的として懇親会を企画し、実施しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		提供するサービスについての苦情に適切に対応する体制を整えています。苦情解決責任者・苦情受付担当者を設置し、迅速な苦情解決に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		学期ごとの節目で季刊誌を発行しているほか、連絡ノートを活用して、お知らせなどの情報発信を行っています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		守秘義務を徹底し、支援に関する個人情報は門外不出であることを周知しています。また、個人情報に関する書類は、鍵付きの書棚で管理し、取扱いに十分気を付けています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的に伝わりやすい絵カードや、具体物を使用するなどの工夫を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域とのつながりを目的とした催しなど、今後の取り組みとして検討いたします。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル、衛生管理マニュアルを作成し、職員全員が常に閲覧・確認できるよう、事業所内に掲示しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		防災・避難訓練を年一回以上行ない、非常災害などに対して迅速に対応できるように取り組んでいます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		管理者が福岡県の研修に参加し、復命後に職員に対し伝達研修会を実施しています。（H30年度は受講抽選もれのため、事業所内での学習会を実施しています）
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在、対象となる利用児童がおらず、身体拘束や抑制は行っていませんが、原則的に禁止とするマニュアルを事業所内に掲示しております。必要時に備えた同意書の整備なども適切に行っております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者様より、アセスメントで食物アレルギーに関して詳しく情報を得られるようにしています。おやつ提供の際には細心の注意を払っていますが、万が一の場合には適切な対応がとれるようにしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		インシデント報告書を作成し、その原因や対応について全員で検証を行い、再発防止のための取り組みを行っています。